



Face to Face 第16号

「最期まで人らしく」

くまもと成仁病院 内科部長 松田 浩治



昨年12月からくまもと成仁病院で働くことになりました、松田です。
現在世界中で大変なコロナ渦に見舞われています。今までに経験したことのない状況で、医療従事者はそれぞれの役割を果たしながら一生懸命働いておられ御苦労されていると思います。一般の方々も自粛・自粛で不自由な生活を送られていると思いますが、なんとかこの困難に立ち向かい、打ち勝たねばなりません。もうしばらく頑張ります。

さて、私は長い間、菊池で地域医療に携わってきました。そこで高度急性期病院と連携を図りながら急性期疾患の治療を行ってきました。また、地域医療の特性上、高齢者医療・緩和ケアなどを通して多くの人の最期に立ち会ってきました。そうした中で「最期まで人らしく」ということを強く意識するようになりました。人らしくとは何かと考えると、人間の尊厳を守ること以外に以下の3つはないかと自分なりに考えるようになりました。

- 1、口から食べ物を食べて消化吸収し排便する
- 2、人とコミュニケーションがとれる、自分の意思を伝えることができる
- 3、自分の足で立って、歩くことができる

この3つは病気になった時や老化現象で徐々に低下していきます。病気自体を治療することも大切ですが、この機能を維持すること、なんとか少しでも改善することが大切であると思います。そのためには医師だけでなく看護師、リハビリスタッフ、地域連携科や様々な職種の連携が必要となります。幸しくまもと成仁病院には優秀なスタッフが揃っており、このことを頭に入れてチーム医療を行い患者様に安心・信頼していただけるよう努力したいと思っておりますので、今後とも宜しくお願いします。

地域医療連携室 基本指針

一、患者様一人ひとりの声に耳を傾け考え方や価値観を尊重します！

一、急性期病院との救急連携及び当院居宅・外来部門との在宅連携を中心に効率的な病床管理を行います！

一、スタッフ個々の専門性を向上させ、より高いレベルで相談援助活動を行い、患者様第一主義に貢献します！

ようこそ連携室！ 自然を愛する 癒し系ナース♡



看護師 和田 玲美

令和2年10月より地域医療連携室に配属になりました。
くまもと成仁病院に勤務して11年目になります。ケア・外来での経験を経て、新たな部署への配属となり今までとはまた違った分野で介護・福祉のことを学ばせて頂いています。趣味は物づくりです。家に本棚を作ったり、押し入れに棚をつけたり、クロスを貼ってみたいリフォームをするのが楽しみです。失敗が多いですが、完成した時の達成感はたまりません。仕事においても患者様・家族との関係性を大切に、「その人らしさ」を大事に今後のことを一緒に考えていきたいと思います。皆様どうぞよろしくお願い致します。

令和2年7月 熊本豪雨災害における当法人の支援対応について

地域支援センター 副部長 村上 充

令和2年7月の豪雨災害に被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。
令和2年7月4日(土)未明より降り続いた、記録的短時間豪雨の影響により、人吉・球磨地域の状況が一変したニュース映像を見ながら、私はすぐに人吉医療センターのMSW仲間にもメールを送った。4年前の熊本地震の際、福岡県のMSW仲間からすぐにメールが入り、次の日には支援物資を持参して6時間かけて当院の支援に来てくれたことを思い出したのである。あの時感じた恩義は、必ず次にどこかで災害が起きた際に恩返しする！と地域医療連携室スタッフで常に話していたところであった。7月6日(月)早朝、理事長や看護部長へ相談し、当院で出来る範囲の支援を行っていく事の了承を得て、まずは救急・急性期病院の支援を行うことから始めよう！という計画のもと、被災者の方々等の受け入れ準備として、当法人の老健施設である平成唯仁館や特養施設であるみどりの館へも協力依頼を行うなど、受け入れ病床の確保を行いつつ、人吉医療センターからの返信のメールを待った。次の日の7日には人吉医療センターより返信があり、まだまだ大雨警報や高速道路の通行止め等、詳細な状況がつかめないままではあったが、8日(水)には感染対策物資や医材物資等の支援物資を持って人吉へ向かった。7/8(水)~7/15(水)までの間、地域医療連携室スタッフと外来や病棟看護師等で毎日人吉まで足を運び、支援物資の運搬や被災者の方々への受け入れ等を行った。最終的には、平成唯仁館の協力体制や他県のDMATのご支援もあって、16名の患者受け入れを行った(唯仁館入所2名含む)。今後も、いつどこで発生してもおかしくない自然災害に対して、常に準備を怠ってはいけないという意識と同時に、今回のような災害支援を行っていく事も考えていかなければならないと改めて強く感じたところである。
被災された方々の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

連携室職員近況報告



小平 千遥

令和2年度介護支援専門員試験に合格しました！今年の全国合格率は平均14%未満とのこと、嬉しい限りです。実務研修も気合を入れて体調管理を万全に頑張ってきました！



松永 泰葉

10月に元気な女の子を出産しました！最初はギャン泣きで寝不足の毎日でしたが、日々の成長に感動している毎日です。また連携室に戻ってまいりますので、よろしくお願いします。



謹賀新年

昨年も大変お世話になりました。大変な日々が続きますが、互助の精神でこの困難を乗り越えましょう。今年もよろしく願いいたします！
地域医療連携室 職員一同